



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月10日

上場会社名 日本コークス工業株式会社
コード番号 3315 URL <http://www.n-coke.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 弘明

問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 奥苑 隆幸

TEL 03-5560-1311

定時株主総会開催予定日 2024年6月27日

配当支払開始予定日

2024年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	135,152	22.4	4,390		3,640		1,898	
2023年3月期	174,062	39.6	397		752		1,075	

(注) 包括利益 2024年3月期 2,078百万円 (%) 2023年3月期 1,029百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2024年3月期	6.52		3.4	2.6	3.2
2023年3月期	3.70		1.9	0.6	0.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期	140,713	56,355	40.0	193.65
2023年3月期	140,202	54,277	38.7	186.50

(参考) 自己資本 2024年3月期 56,355百万円 2023年3月期 54,277百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	10,827	9,876	414	6,160
2023年3月期	12,402	8,094	21,091	5,616

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			
2024年3月期		0.00		3.00	3.00	873	46.0	1.6
2025年3月期(予想)								

(注) 2025年3月期の配当については未定です。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	302,349,449 株	2023年3月期	302,349,449 株
期末自己株式数	2024年3月期	11,324,359 株	2023年3月期	11,323,046 株
期中平均株式数	2024年3月期	291,025,782 株	2023年3月期	291,027,077 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	126,253	23.8	3,557		2,911		1,490	
2023年3月期	165,580	41.8	1,191		1,478		1,525	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	5.12	
2023年3月期	5.24	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	132,969	51,996	39.1	178.67
2023年3月期	133,239	50,334	37.8	172.96

(参考) 自己資本 2024年3月期 51,996百万円 2023年3月期 50,334百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
4. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	15
(会計方針の変更)	15
(会計上の見積りの変更)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
5. その他	20

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による、緩やかな回復が続くことが期待される一方で、ウクライナや中東地域をめぐる情勢、世界的な金融引締めなどにより、原材料価格の変動や海外経済の下振れリスクがある中で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前年同期に比べ原料炭市況の下落のほか、2Aコークス炉更新工事の実施や設備トラブルによる生産量減少などにより、当期の連結売上高は、前期比389億9百万円減少の1,351億5千2百万円となりました。

利益面では、客先ポートフォリオの見直しなどにより、連結営業損益は、43億9千万円の営業利益（前年同期は3億9千7百万円の営業損失）となったほか、連結経常損益は、36億4千万円の経常利益（前年同期は7億5千2百万円の経常損失）となりました。

特別損益につきましては、固定資産売却益などによる特別利益2億4千4百万円に対し、固定資産除却損などにより、特別損失11億5千7百万円を計上いたしました。

これより、法人税等を差し引き、親会社株主に帰属する当期純損益は18億9千8百万円の純利益（前年同期は10億7千5百万円の純損失）となりました。

セグメントの概況

①コークス事業

コークス事業につきましては、当社グループの販売数量は、2Aコークス炉更新工事の実施や設備トラブルによる生産量減少などがあり、前期比31万4千トン減少の116万9千トンとなり、売上高も、減収となりました。

利益につきましては、客先ポートフォリオの見直しなどにより、増益となりました。

この結果、コークス事業の連結売上高は、前期比264億1百万円減少の838億4千1百万円となり、連結営業損益は、1億1百万円の営業利益（前年同期は38億8千万円の営業損失）となりました。

②燃料・資源リサイクル事業

燃料・資源リサイクル事業につきましては、当社グループの販売数量は、111万3千トンと前期比2万1千トン増加となりましたが、売上高は、一般炭市況の下落などにより、減収となりました。

この結果、燃料・資源リサイクル事業の連結売上高は、前期比129億6千9百万円減少の387億9千8百万円となり、連結営業利益は、前期比4億8千2百万円増加の37億2千5百万円となりました。

③総合エンジニアリング事業

総合エンジニアリング事業につきましては、化工機事業において、前期受注高の増加による期首受注残高の増加などにより、増収となりました。

この結果、総合エンジニアリング事業の連結売上高は、前期比6億7千1百万円増加の88億3千万円となり、連結営業利益は、前期比3億6千9百万円増加の16億4千5百万円となりました。

④その他

その他の事業につきましては、運輸荷役事業において、取扱数量の減少などにより、減収となりました。

この結果、その他の事業の連結売上高は、前期比2億9百万円減少の36億8千2百万円となり、連結営業利益は、前期比3千3百万円減少の5億6千5百万円となりました。

（2）当期の財政状態の概況

資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、1,407億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億1千万円増加となりました。増減の主なもの、建設仮勘定の増加57億8百万円、原材料及び貯蔵品の増加49億7百万円、機械装置及び運搬具の増加11億8千3百万円、商品及び製品の減少85億5千万円、流動資産「その他」の減少23億2千2百万円等であります。

当連結会計年度末の負債は、843億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億6千7百万円減少となりました。増減の主なもの、流動負債「その他」の増加22億2千8百万円、支払手形及び買掛金の減少35億1千万円、契約負債の減少3億1百万円等であります。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、20億7千8百万円増加の563億5千5百万円となりました。また、当連結会計年度末の自己資本比率は、40.0%になりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、5億4千4百万円増加の61億6千万円となりました。

当連結会計年度末におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、108億2千7百万円（前年同期比232億3千万円増加）となりました。

これは主に、減価償却費45億4千3百万円、棚卸資産の減少額39億3千1百万円、未払消費税等の増加額12億7千8百万円などによる資金の増加に対し、仕入債務の減少額35億1千万円などによる資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、98億7千6百万円（前年同期比17億8千1百万円増加）となりました。

これは主に、固定資産の取得による支出96億3千1百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、4億1千4百万円（前年同期比215億5百万円増加）となりました。

これは主に、短期借入れによる収入3,684億5千8百万円などに対し、短期借入金の返済による支出3,698億8千8百万円などによるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率（%）	44.4	50.0	44.5	38.7	40.0
時価ベースの自己資本比率（%）	16.7	32.5	32.5	18.1	27.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	4.6	1.5	5.0	—	4.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	17.8	55.3	21.0	—	35.7

※ 自己資本比率：（純資産－非支配株主持分－新株予約権）／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しております。

（注3）営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（注4）2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ウクライナや中東地域をめぐる情勢、世界的な金融引締めなどにより、市況および需給を見通すことが困難であることから、現時点では未定としております。

開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への還元ならびに将来の安定的な収益基盤確立のために必要な投資や財務体質強化のための内部留保水準について、業績および財務の状況を総合的に勘案したうえで適切に配分することとしております。

更に、株主の皆様への利益還元につきましては、上記の方針を踏まえつつ、継続的且つ長期安定的な配当を実施することが重要な課題であると認識しております。

従いまして、当期の期末配当につきましては、当社の中核であるコークス事業の利益が改善したことなどにより、1株当たり3円といたします。

また、次期の配当につきましては、2024年度通期の連結業績が未定であることから、現時点では未定といたします。配当予想額の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

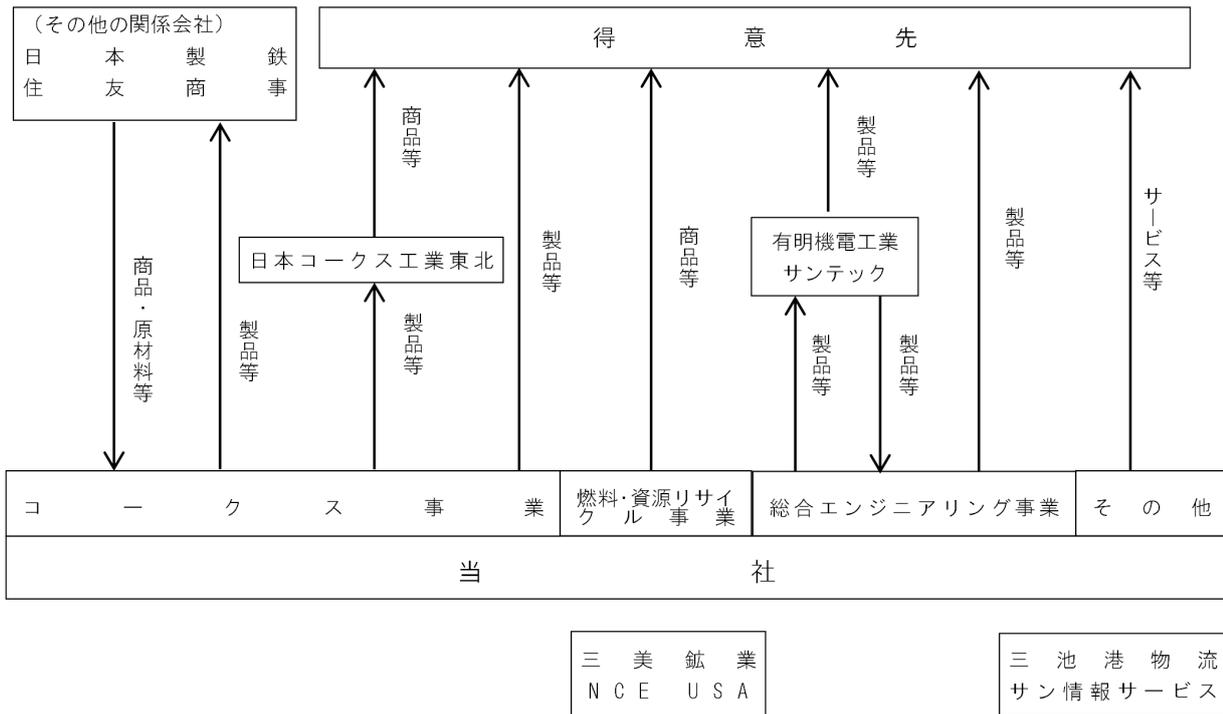
2. 企業集団の状況

当社グループは、当社および当社の子会社8社とその他の関係会社である日本製鉄株式会社・住友商事株式会社で構成されており、コークスの製造・販売、燃料の販売から石炭灰等のリサイクル処理までを一貫して取り扱う燃料事業、粉粒体機器・装置の製造・販売などを主に営んでおります。

当社グループの事業に係わる位置付けおよびセグメントとの関連、その概要図は次のとおりであります。

セグメント	主要な事業	主要な会社
コークス事業	コークスの製造・販売	当社、日本コークス工業東北 (会社総数2社)
燃料・資源リサイクル事業	一般炭および石油コークスの仕入・販売、 コールセンター事業、産業廃棄物処理およびリサイクル	当社、三美鉱業 (会社総数4社)
総合エンジニアリング事業	化学装置・機器、一般産業用機器、プラントの製造・販売	当社、有明機電工業、サンテック (会社総数3社)
その他	運輸荷役、不動産販売・賃貸、その他	当社、三池港物流、サン情報サービス (会社総数3社)

(注1) 各セグメントごとの会社数の算定において、当社は重複して数えております。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,620	6,164
受取手形	462	774
売掛金	13,461	12,887
契約資産	933	1,106
商品及び製品	21,333	12,783
仕掛品	1,670	1,381
原材料及び貯蔵品	23,665	28,573
その他	3,064	741
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	70,203	64,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,180	24,807
減価償却累計額	△15,938	△16,576
建物及び構築物（純額）	8,241	8,231
機械装置及び運搬具	95,737	99,883
減価償却累計額	△78,542	△81,505
機械装置及び運搬具（純額）	17,194	18,378
土地	34,197	33,590
建設仮勘定	3,737	9,445
その他	2,093	2,350
減価償却累計額	△1,497	△1,643
その他（純額）	596	706
有形固定資産合計	63,967	70,352
無形固定資産		
その他	428	424
無形固定資産合計	428	424
投資その他の資産		
投資有価証券	938	1,194
繰延税金資産	3,667	3,346
その他	1,038	1,032
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	5,603	5,532
固定資産合計	69,999	76,309
資産合計	140,202	140,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,215	20,704
短期借入金	37,591	37,437
未払法人税等	182	603
契約負債	1,479	1,177
賞与引当金	736	728
関係会社整理損失引当金	340	341
受注損失引当金	25	15
その他	4,960	7,189
流動負債合計	69,530	68,198
固定負債		
長期借入金	8,742	8,495
退職給付に係る負債	3,047	3,034
役員退職慰労引当金	56	56
環境対策引当金	3,575	3,514
関係会社整理損失引当金	24	6
その他	948	1,052
固定負債合計	16,394	16,159
負債合計	85,925	84,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	46,652	48,551
自己株式	△1,209	△1,209
株主資本合計	54,193	56,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228	404
繰延ヘッジ損益	-	△1
退職給付に係る調整累計額	△144	△138
その他の包括利益累計額合計	83	264
純資産合計	54,277	56,355
負債純資産合計	140,202	140,713

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	174,062	135,152
売上原価	167,861	124,587
売上総利益	6,200	10,565
販売費及び一般管理費		
積揚地諸掛	1,881	1,369
給料及び賃金	1,009	971
海上運賃	775	837
その他	2,931	2,995
販売費及び一般管理費合計	6,598	6,174
営業利益又は営業損失(△)	△397	4,390
営業外収益		
保険差益	979	48
受取配当金	25	28
貸貸収入	17	17
受取利息	15	16
その他	51	53
営業外収益合計	1,088	164
営業外費用		
支払利息	339	302
環境対策引当金繰入額	524	265
為替差損	273	154
その他	306	191
営業外費用合計	1,443	914
経常利益又は経常損失(△)	△752	3,640
特別利益		
固定資産売却益	182	232
その他	1	11
特別利益合計	183	244
特別損失		
固定資産除却損	814	1,068
減損損失	-	5
その他	53	84
特別損失合計	867	1,157
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,436	2,727
法人税、住民税及び事業税	350	587
法人税等調整額	△711	241
法人税等合計	△360	828
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,075	1,898
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,075	1,898

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,075	1,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	175
繰延ヘッジ損益	-	△1
退職給付に係る調整額	5	6
その他の包括利益合計	46	180
包括利益	△1,029	2,078
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,029	2,078
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,000	1,750	49,765	△1,209	57,306
当期変動額					
剰余金の配当			△2,037		△2,037
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△1,075		△1,075
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	△3,112	△0	△3,113
当期末残高	7,000	1,750	46,652	△1,209	54,193

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	188	—	△150	37	57,343
当期変動額					
剰余金の配当				—	△2,037
親会社株主に帰属する当期純損失（△）				—	△1,075
自己株式の取得				—	△0
自己株式の処分				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	40	—	5	46	46
当期変動額合計	40	—	5	46	△3,066
当期末残高	228	—	△144	83	54,277

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,000	1,750	46,652	△1,209	54,193
当期変動額					
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する当期純利益			1,898		1,898
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					-
当期変動額合計	-	-	1,898	△0	1,898
当期末残高	7,000	1,750	48,551	△1,209	56,091

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	228	-	△144	83	54,277
当期変動額					
剰余金の配当				-	-
親会社株主に帰属する当期純利益				-	1,898
自己株式の取得				-	△0
自己株式の処分				-	-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	175	△1	6	180	180
当期変動額合計	175	△1	6	180	2,078
当期末残高	404	△1	△138	264	56,355

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,436	2,727
減価償却費	5,381	4,543
減損損失	—	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△164	△7
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△20	△17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△27	△3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	0
環境対策引当金の増減額(△は減少)	244	△60
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△190	△9
受取利息及び受取配当金	△40	△45
保険差益	△979	△48
支払利息	339	302
為替差損益(△は益)	△3	△7
固定資産除却損	814	1,068
固定資産売却損益(△は益)	△180	△230
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	4,849	87
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,410	3,931
その他営業資産の増減額(△は増加)	223	121
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,662	△3,510
未払消費税等の増減額(△は減少)	△353	1,278
その他営業負債の増減額(△は減少)	△793	35
その他の固定負債の増減額(△は減少)	172	188
その他	△28	37
小計	△9,265	10,387
保険金の受取額	760	416
利息及び配当金の受取額	40	45
利息の支払額	△336	△303
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,600	281
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,402	10,827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△7,633	△9,631
固定資産の除却による支出	△729	△1,041
固定資産の売却による収入	283	832
投資有価証券の取得による支出	△9	△10
投資有価証券の売却による収入	—	8
その他の投資に係る支出	△2	△1
その他の投資の回収による収入	3	1
その他	△5	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,094	△9,876

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	395,719	368,458
短期借入金の返済による支出	△368,374	△369,888
長期借入れによる収入	2,815	4,140
長期借入金の返済による支出	△7,020	△3,111
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,037	—
その他	△10	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,091	△414
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	7
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	597	544
現金及び現金同等物の期首残高	5,019	5,616
現金及び現金同等物の期末残高	5,616	6,160

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

連結の範囲に関する事項

連結子会社

連結子会社の数 6社

主要な連結子会社の名称

三池港物流㈱、有明機電工業㈱、三美鉱業㈱、サンテック㈱

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取扱製商品・サービスの類似性等に基づいて事業を区分しており、各事業部門は主体的に、取り扱う製商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製商品・サービス別のセグメントから構成されており、「コークス事業」「燃料・資源リサイクル事業」「総合エンジニアリング事業」の3つを報告セグメントとしております。

「コークス事業」は、コークスの製造・販売を行っております。「燃料・資源リサイクル事業」は、一般炭および石油コークスの仕入・販売やコールセンター事業等を行っております。「総合エンジニアリング事業」は、化学装置・機器等の製造・販売およびメンテナンス等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上 高	110,243	51,768	8,159	170,170	3,891	174,062	—	174,062
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	20	3,018	3,038	370	3,409	△3,409	—
計	110,243	51,788	11,177	173,209	4,262	177,471	△3,409	174,062
セグメント利益又は損 失 (△)	△3,880	3,243	1,275	637	598	1,236	△1,634	△397
セグメント資産	84,490	16,137	9,808	110,436	15,145	125,582	14,620	140,202
その他の項目								
減価償却費	4,707	38	245	4,991	325	5,317	64	5,381
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	7,279	37	415	7,733	210	7,943	47	7,991

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△1,634百万円は、セグメント間取引消去△43百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,590百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額14,620百万円は、セグメント間取引消去△1,197百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産15,817百万円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない資産であります。

3. セグメント利益又は損失およびセグメント資産は、連結財務諸表の営業損失および資産合計と調整を行っております。

4. 減価償却費には、長期前払費用の償却費が含まれております。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

II 当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上 高	83,841	38,798	8,830	131,470	3,682	135,152	—	135,152
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	10	2,753	2,763	355	3,119	△3,119	—
計	83,841	38,809	11,583	134,234	4,037	138,272	△3,119	135,152
セグメント利益	101	3,725	1,645	5,472	565	6,037	△1,646	4,390
セグメント資産	90,072	11,852	11,173	113,097	15,163	128,261	12,452	140,713
その他の項目								
減価償却費	3,904	34	255	4,194	283	4,477	66	4,543
減損損失	—	—	—	—	5	5	—	5
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	10,596	21	535	11,153	351	11,505	90	11,596

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△1,646百万円は、セグメント間取引消去△45百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,601百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額12,452百万円は、セグメント間取引消去△900百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産13,352百万円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない資産であります。

3. セグメント利益およびセグメント資産は、連結財務諸表の営業利益および資産合計と調整を行っております。

4. 減価償却費には、長期前払費用の償却費が含まれております。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	186.50円	193.65円
1株当たり当期純利益金額 又は1株当たり当期純損失金額（△）	△3.70円	6.52円

（注） 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	54,277	56,355
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
(うち非支配株主持分 (百万円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	54,277	56,355
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	291,026,403	291,025,090

3. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額 又は1株当たり当期純損失金額（△）		
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失（△） (百万円)	△1,075	1,898
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失（△） (百万円)	△1,075	1,898
期中平均株式数 (株)	291,027,077	291,025,782

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. その他

役員の異動

役員の異動につきましては、本日開示の「役員の異動に関するお知らせ」をご参照ください。